

2023年1月 (No.403)

## 主な内容とページ

再び三位一体 .....	1
健闘した日本半導体 .....	2
米 IBM から打診 .....	3
「セル MPU」はマイクロソフトのゲームに .....	4
何を作るか .....	5
東氏に期待 .....	7
三位一体と政治要因 .....	7
「007」再び? (SRL だより) .....	10

---

## 再び三位一体

政府の半導体政策でわが国での製造と関連先端技術への取り組み体制ができたが、次の課題はそれを何に使うか。市場が最大の焦点となってきた。

1. わが国半導体の再興策として製造基盤および先端プロセスの確立を外資の導入で行う体制が確立された。次の課題は、それら技術基盤をいかに活用するか、今年の焦点だ。
2. 半導体事業の三大要素「作る」、「買う」、「売る」の好循環、最適化、バランスが求められている。
3. 米国、韓国、台湾はバランスが取れ、中国が猛迫している。わが国は、基盤は整っており、やり方、方法で起死回生をねらうべきだ。とくに市場戦略が鍵となりそうだ。

## 「007」再び？

米中対立の激化で半導体は輸出規制が強化される一方、国家補助による産業支援とあわただしい動きにある。先端技術が武器に使われ、それが安全保障に影響を与える。冷戦時代のコム輸出規制を彷彿とさせ、同時に規制をかいくぐろうとするスパイそれを防ぐ特別諜報員との争い、「007」の映画を思い出す。

技術格差は存在しても水は低きに流れるように移転する。冷戦時代のソ連は宇宙開発や核兵器では、西側と引けをとらない水準を確保していたといわれる。ただしこれらは限られた分野のみで、自動車や家電製品には使われず顕著な差がみられた。見方を変えれば、特定分野に集中すれば、必要技術は入手可能性が高い。

北朝鮮のミサイルの開発のように武器など限定された分野で世界の先端技術を使うことは、規制があっても実際はほぼ可能なのが実態ではないだろうか。それを防ぐには、より進んだ技術を開発すること。諜報を強化して自らの利益を維持する。他に手立てはあるのだろうか。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL の解釈と分析で表現したものです。

2023 年 著作権所有 株式会社 SRL

### SRL Monthly Report

2023 年 1 月 (毎月 1 回発行) 第 34 巻 1 号 (通巻 403 号)

発行元: 株式会社 SRL

〒187-0011 東京都小平市鈴木町 2-865-67

TEL 042-439-5317 FAX 042-439-5023

編集・発行人/大竹 修

© (株)SRL 2023

### SRL Monthly Report

January 2023, No.403

Semicon Research Ltd.

2-865-67 Suzuki-Cho, Kodaira -City, Tokyo 187-0011 Japan

Publisher/Editor Osamu Ohtake

購読料金 1 年分 (12 号) 98,000 円 (税別) 107,800 円 (税込み)